

第1回

協働の まちづくり プロジェクト会議結果



テーマ

『遊び場』について

協働のまちづくりプロジェクト会議って何？



協働のまちづくりプロジェクト会議は、町内に居住する20歳以上の委員15名で構成し、まちづくりの課題等からテーマを設け、様々な視点からご意見やご提案などを話し合い、行政運営の参考としています。



7月に開催された第1回の会議結果は次のとおりです。

□昔から見れば子どもは減っている。今の子どもたちはまちの駅やきららガーデンで遊んでいて、近場のいい遊び場となっている。公園の遊具については、メンテナンスは必要。新しく設置をするのであれば、どういうものを作ったらいいか十分に研究してほしい。

□自分が子どもの頃は平波神社でよく遊んだ。虫取りの宝庫で楽しかったがスズメバチの巣もあり危険でもあった。

□遊具の予算がよく分からない。田舎は自然が多く、木登りとか刺激のある所で遊んでいた。道の駅横の広場の意図はどう考えているのか。遊具が少なく中途半端だなど思った。しっかりとした遊具は設置できなかったのか。

建設課長

小さなお子さんがちよつとした時間で遊べる場所として作った。

□公園を見て歩いた。ふれあい公園のすべり台が壊れたままだったのと、ブランコの下が削れたままで危ないと思ったので、しっかりと管理してほしい。

町長

遊具が壊れていることは管理している町の責任。壊れている遊具は修繕する。遊具の予算は場所に適しているかということもある。要望が多ければ設置してもいいと思うが予算も限られているので、どういう遊具がどの場所にあつたらいいか考えていきたい。

□資料を見て町内には意外と公園が多いと思った。外で遊ぶのもいいし、屋内で遊ぶのもいいと思った。高齢者と一緒に遊べるサークルがあればいいと思う。アルパカ牧場では町外のお客さんはヤギと遊んでも十分楽しんでる。アルパカ牧場はパスポートもあるのでアルパカ牧場で遊んでもいいと思う。

□街の中はたくさん子どもがいるが田舎の方は子どもが少なく、

友達と一緒に遊びたいが街まで遠いし、近所に同じ学年の子どものいない。道の駅横のドッグランはいい場所だと思うが人が遊んではだめなのか。子どもがキャッチボールをしていたら町外の方から怒られた。ドッグランは利用も多いので有料にしてはどうか。道の駅横の広場では家族連れが遊具で遊んでいるのを見かける。ほかの町にない遊具なのでいいのかなと思う。

町長

ドッグランは要請があつて作った。ドッグランと人が遊べる部分の仕切を付けることも可能なので検討していきたい。

□町の中心部には公園がたくさんある。道の駅、レークサイド桜岡に公園を設置した方が集客も見込めるし、自分は市街から離れているので行きやすい。

町長

道の駅の遊具は少ないと思う。今後研究していきたい。レークサイド桜岡は親水広場を活用できたらと思う。湖の対岸にも「実

のなる森」という広場はあるが、行くまでの道は木の枝が飛び出ている通りづらく、管理が行き届いていないと感じた。

□道の駅が評価されている。広い空間と木の砂場、子どもがよく遊んでいる。絵本の館でも遊びの提供をしている。せっかくの絵本の里なので、「遊び塾」のような企画ができればと思う。

□丸山公園、南劍淵公園の周りには子どもが少なくなっているし、老朽化の遊具があれば撤去した方がいいと思う。子どもたちが遊びに行く場所は、安全で安心できる場所にしていただきたい。例えば児童公園であれば学童保育所が近くにあり、連絡する所がある。公園の整備についてはレークサイド桜岡や道の駅は目的を持って集客用の観光地として整備し、町内の中は子どもたちの遊び場として二通りの考え方で検討していけばいいと思う。

町長

遊具については定期的に点検する。安心して遊べる環境づくり

が必要だと思う。また、子どもの危険に對しての判断力もつけることが大切。私も小さい頃は山奥にぶどう採りに行った。遊具については観光地には変わったのがあってもいいと思うので検討していきたい。

□旧幼児センター跡地は、遊具の設置ではなく更地にして多目的広場として自由に遊べる場所があってもいいと思う。風連の道の駅で「カブトムシポイントマップ」があつた。昼間でも80%の確率でカブトムシが取れるポイントがあつて、実際に行ってみたら1匹捕まえた。いつもなら通り過ぎる場所でも、こういつたマップを置くことで滞在時間を長くする取り組みは大事だと思った。

□せっかく作るならインパクトのある公園がいいと思う。劍淵町は何が有名か考えたとき、絵本の里での統一感として絵本の中に出てくる公園を実現できないのかなと思った。メルヘンチックな考えでいったら「お菓子の家」と遊具を合わせてできない

かなと思った。子どもたちにとって遊具があつたらいいかアンケートもいいと思う。

町長

絵本を題材にした遊具は難しい。よく絵本の里らしさの設備と言われる。私はよく「絵本の里らしさは目で見て分かるものではなく、町民と触れ合つて分かるものです。」と言っている。おとぎの国のまちづくり等は公共施設では難しい。街並み整備事業では絵本の里のロゴを使つて景観が良くなったと思う。精いっぱいこのことはしたのかなと思う。街並み整備は平成9年からやっているが、結局シンプルになつた。その後、道の駅、まちの駅、イベント広場、きららガーデンを整備して、それらしい町になつたと思う。アンケートについてはよし悪しもある。必要があれば考えていきたい。

□旧幼児センターは、冬は雪置場になつているので遊具を設置すると雪置場も困ると思うので、遊具設置より先に他の公園遊具の修繕をした方がいい。

町長

旧幼児センターの既存の遊具は有効活用していく。跡地の利用については要望があるので、どのような遊び場として活用がいいのか考えていく。

□親水広場はとていい場所だが、底がヌルヌルしているので掃除をしてほしい。場所がレークサイド桜岡から見えにくい場所にあるため分かりやすい表示をしてほしい。湖では個人でボートは乗れるのか。

総務課長

B & Gの指導者がいれば乗ることができるが、一般の方が自由にボートを乗ることはできない。湖の管理は農業用水池として土地改良区が管理している。

□子どもたちは公園で、ゲーム機で遊んでいるのを見かけるので、日が強い時など木陰があればいいなと思う。また、大人の人も休めるベンチがあるといい。